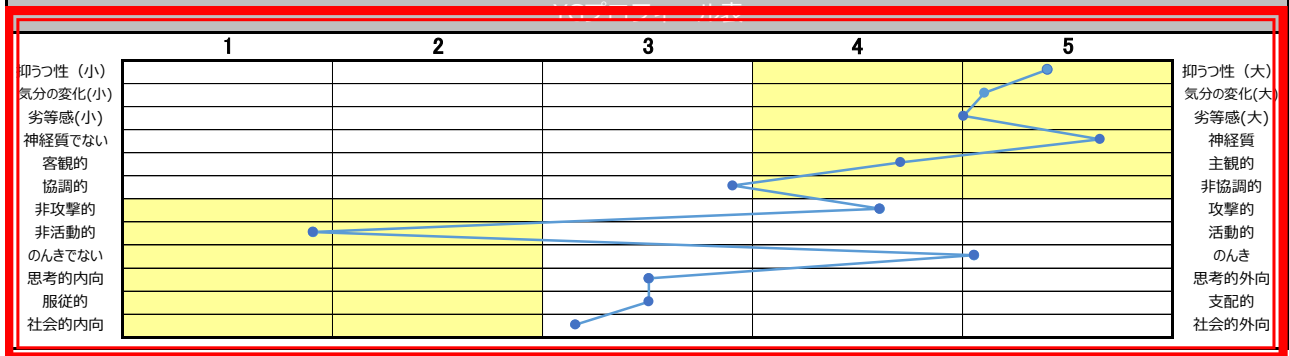


### 運転適性検査 結果報告書

|    |         |    |       |    |    |      |   |
|----|---------|----|-------|----|----|------|---|
| 所属 | 株式会社 ●● | 氏名 | ●● ▲▲ | 性別 | 男性 | 生年月日 | - |
|----|---------|----|-------|----|----|------|---|



検査に使用する性格検査の結果を記載。12因子によって構成されるプロフィール表で、各因子の傾向が理解できます。特に黄色で色付けされているエリアはその傾向が強く出ているタイプであると言え、因子によっては注意が必要になります。

検査結果の傾向が強く出ている項目は、運転時における危険な傾向を示唆しています。安全運転に必要な気配りや、交通状況を読み取ることに注意が必要です。また、危険予測が甘く自分本位の運転傾向がある項目は、運転時における危険な傾向を示唆しています。

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 情緒安定性 | 性格面 | 抑うつ性が高い状態にあり、気力が大きく減退している状態です。感情の浮き沈みがあるタイプで、自信欠如の傾向が強く出ており、弱気な面があります。神経過敏で心配性の傾向があります。   |
|       | 運転面 | 不安定傾向が強く、認知・判断、動作・行動等についてミスが発生してもおかしくない状態です。落ち着かない運転をする傾向にあり、スピードを出したりする反面、もたついたりする面もあり、優柔不断で判断に迷うような傾向もあります。また、雑念にとらわれやすく見落としをしてしまったり、嫌なところは速く走ってしまう傾向があります。 |

|            |     |   |
|------------|-----|---|
| コミュニケーション力 | 性格面 | 善意で協調的であり、指示には誠実に向き合っています。抑うつ性因子を含めた情緒安定性は、安全運転の意識を高く持つにももちろん、その他の業務において集中力を持続させるためにも必要であり、 |
|            | 運転面 | 他車の動きを予測できないのに注意するだけでは足りず、周囲の状況に気を付けてください。情緒安定性が欠けた状態は、ヒューマンエラー、交通事故のリスクが高い状態であると云えます。      |

性格面での特徴に加え、運転面の傾向を記載しており、事故のリスクが高いと思われる項目は赤字で表示されます。運転をマストとする企業様などで採用に利用されるケースも増えています。

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 知的活動性 | 性格面 | 現実即した柔軟な思考力に欠けている傾向がありますが、そのことに気づいていないタイプです。さらに、気まぐれで独善的かつ衝動的な行動をとりやすいタイプです。情緒不安定傾向で未熟性格者に多くみられます。                              |
|       | 運転面 | 運転において先々の状況を予測することが苦手で、その場しのぎの運転をする傾向があります。さらに、自分本位の運転行動をする傾向にあり、周囲の交通状況も考慮せず、突発的な進路変更をするなど危険な運転をする傾向があります。このタイプには事故発生リスクがあります。 |